

重要事項	5年間の主な取組み	令和7年度 主な取組み施策 ※下線部分が新規・拡充の内容、> P●は「こどもまんなか熊本・実現計画」(具体施策編)の概要(個票)のページ数	指標(抜粋)
こどものライフステージに応じた支援	ライフステージを通じた支援 誕生前から幼児期まで 学童期・思春期	<p>(拡) 多様な体験の機会づくり > P.2 こども向け農林漁業体験の推進、商店街のこどもを主体とした取組みへの助成等</p> <p>(拡) グローバル人材育成の推進 > P.4 海外進学・留学に向けた実践的指導等を行う海外チャレンジ塾の実施、モデル校におけるAIを活用した英語力向上、国際バカロレア教育の導入等</p> <p>(拡) 外国人住民のこども・若者への支援 > P.5 モデル地域での日本語指導の教育環境整備、外国籍児童生徒受入れを行う私立教育機関への助成等</p> <p>(拡) 快適な交通環境づくり > P.6 交差点改良やバスバイ整備による交通円滑化、菊池南部地域の渋滞緩和に資する公共交通利用促進に取組む団体への経費助成等</p> <p>(拡) 子育てしやすい住まいづくりの推進 > P.7 県営住宅での子育て世帯向け住戸改善、空き家を子育て世帯向けに改修する市町村への助成</p> <p>(拡) こども誰でも通園制度・病児保育への対応 > P.8 こども誰でも通園制度に取り組み自治体の知見を他自治体に共有、病児保育に係る研修会の開催と広域連携の検討</p> <p>(拡) いじめ・不登校への対応 > P.9 フリースクール等を利用する不登校児童生徒に対する財政的支援、オンライン教育支援センターの試行、市町村が設置する校内教育支援センターの支援員補助等</p> <p>(拡) インクルーシブ教育システムの構築 > P.10 県立特別支援学校と高校の一体的運営モデル構築、インクルーシブ教育の在り方の検討等</p> <p>(新) 魅力ある学校づくり > P.11 県立高校魅力化のための地域との協働体制の先導モデル構築、企業との連携による特出した高校魅力化推進</p>	<p>農林漁業体験の実践事業者数</p> <p>路線バス利用者数</p> <p>高校生に対する性と生にまつわる健康教育の開催回数</p> <p>こども誰でも通園制度実施市町村数</p> <p>病児保育施設稼働率</p> <p>不登校を含む児童生徒の校内教育支援センターの利用者数</p> <p>県立学校施設長寿命化プランに基づく県立学校長寿命化改修事業着手校数</p>
若者の夢が実現できる環境整備	高等教育の修学支援、高等教育の充実 就労・創業支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組み 魅力的な地域づくり等 相談体制の充実	<p>(新) 若年女性の起業支援 > P.13 自分のライフスタイルに合った起業を志す子育て世代の女性向けの講座や伴走型の支援を実施</p> <p>(拡) 熊本県内就労・就業応援 > P.14 若者に対するブライト企業等の魅力の周知、有業率が低い層が就労するきっかけの創出等</p> <p>(拡) 雇用と経済基盤安定のための取組みへの対応 > P.16 県内企業の賃上げ実現に向けた企業の生産性向上の促進、価格転嫁の円滑化推進等</p> <p>(拡) 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談支援 > P.17 こども・若者総合相談センターでの相談支援、24時間子供SOSダイヤルの運用等</p>	<p>くまもと移住定住・UIJターン就職支援センター登録者におけるUIJターン就職者数</p> <p>子ども・若者総合相談センターで対応した相談延べ件数</p>
希望を叶える結婚・妊娠・出産への支援	結婚支援 不妊治療等の支援 出産支援と産後等の支援	<p>(新) 結婚支援等の更なる推進のための調査研究 > P.19 結婚支援や「よかボス企業」等の在り方の再点検等</p> <p>(拡) ライフデザイン支援 > P.20 卵巣に残る卵子数を測る検査費用をモデル的に助成し、ライフプランを考えるきっかけを作り、希望する妊娠の実現につなぐ</p> <p>(拡) 不妊治療の経済的支援の充実 > P.21 補助対象を一般不妊治療と生殖補助医療(先進医療)の選択制化(これまで一般不妊治療に補助)</p> <p>(拡) 周産期医療体制の充実 > P.22 遠方分娩取扱施設への交通費・宿泊費支援、遠方妊婦健診への交通費支援、分娩数減少の分娩取扱施設等への支援、ICTを活用した医療連携体制の構築等</p> <p>(拡) 産後ケアの広域体制の整備 > P.23 産後の母子に対する心身のケアや育児サポートを行う体制の確保、県内の広域調整の実施</p>	<p>結婚支援に取り組む市町村数</p> <p>女性相談センターでの不妊に関する電話相談・情報提供数</p> <p>妊婦の歯科検診受診率</p> <p>産後ケア利用率</p>
あらゆる家庭のニーズに応じた子育て支援	経済的負担への対応 地域や家庭でこどもを育成する安全・安心な環境の構築 安心して働ける職場環境づくり等 ひとり親家庭への支援	<p>(拡) 子ども医療費や多子世帯の保育料の軽減 > P.25 子ども医療費助成や多子世帯の保育料軽減を行う市町村に対し引き続き助成金を交付</p> <p>(新) 入院中のこどもの家族の付添い等に関する環境改善 > P.26 家族が利用できるベッド等や付き添えない時のオンライン通話環境整備の支援</p> <p>(拡) 「親の学び」の機会の充実 > P.27 教育・福祉の連携により乳幼児健診の機会を活用し、乳幼児の保護者を対象とした「親の学び」講座等の推進、こどもと家庭と一緒に休める環境整備等</p> <p>(拡) 県庁が率先して取り組む子育てしやすい職場環境づくり > P.28 勤勉手当(育児休業サポート分)の新設、テレワーク拡充の本格実施、子の看護休暇の取得要件の緩和等</p> <p>(拡) 民間企業が取り組む子育てしやすい職場環境づくりの支援 > P.30 ブライト企業の認定と支援、「よかボス企業」の在り方の再点検</p> <p>(拡) こどもの居場所づくり > P.31 こども食堂開設にあたって課題となっている食材確保の支援、こどもの居場所にもなる「地域の縁がわ」の普及・促進等</p> <p>(拡) ひとり親家庭への支援 > P.32 ひとり親家庭住宅支援資金貸付の貸付上限を4万円/月から7万円/月に拡充等</p>	<p>多子世帯子育て支援事業の助成対象児童数</p> <p>各発達段階における「親の学び」講座の実施率</p> <p>ブライト企業認定数</p> <p>地域の学習教室の開催箇所数・生徒数・市町村数</p> <p>こどもの居場所の数(こども食堂)</p>
特に支援が必要なこどもへの支援	こどもの貧困対策 障がい児支援・医療的ケア児等への支援 児童虐待防止対策、社会的養護の推進、ヤングケアラーへの支援 自殺対策、犯罪などから守る取組み	<p>(拡) 児童虐待の未然防止・早期対応 > P.34 市町村、児童家庭支援センター及び児童相談所の三層構造体制による児童相談体制の充実、児童相談所業務のDXによる業務効率化等</p> <p>(拡) 医療的ケア児等の障がい児の支援 > P.35 医ケア児支援センターの設置、人材育成、災害対策等</p> <p>(拡) 自殺対策 > P.36 ゲートキーパー養成について、教職員向け及び主任児童委員向け養成研修を新設、大学生向け養成プログラムの実施大学の拡大</p> <p>(拡) 通学路の防犯カメラの設置と交通安全対策 > P.37 通学路等への見守りカメラの設置、県警子ども見守り・訪問隊等による登下校時の見守り活動の推進</p>	<p>医療的ケア児等コーディネーターを配置している市町村数</p> <p>県警子ども見守り・訪問隊による見守り活動実施箇所数</p>
施策を推進するために必要な事項	当事者・関係者の意見反映 支援する人の確保・育成・支援 気運醸成 その他の共通の基盤となる取組み 施策の推進体制等	<p>(拡) 「こども未来創造会議」や業界との意見交換の実施 > P.39 「こども未来創造会議」において学童保育等の個別論点を深掘りする意見聴取を実施</p> <p>(拡) 保育人材不足への対応と不適切な保育への対応 > P.40 中高生等に対する保育体験講座、専門職による巡回支援、離職保育士等の再就職支援等</p> <p>(拡) 教職員の働き方改革の更なる推進 > P.41 教員業務支援員の全校配置、県立学校の教育DX推進</p> <p>(拡) 「こどもまんなか熊本」の気運醸成 > P.42 市町村等の関係機関との連携、こどもの居場所づくり支援を通じた気運醸成等</p>	<p>意見聴取に参加した当事者・関係者の延べ人数</p> <p>保育士再就職支援コーディネーター実績</p>